

# 愛・誠・勇

福島市立福島第三小学校

令和3年度『学校だより』

第3号 R3, 7, 9

校長 佐藤 秀美

文責：齋藤 康則

## 学級懇談会

6日（火）に「学級懇談会」を各教室で行いました。各学級、1学期の子どもたちの成長について振り返りました。



「学級懇談会」に引き続き、「教育講演会」を行いました。今回の講演会は、「AI・IoT時代を生き抜くための情報モラルとは」と題して、今、そしてこれからの子どもたちを取り巻くネット社会の問題点について、福島県生徒指導アドバイザーの目黒朋子先生に講演していただきました。内容は、「現代の情報機器の発達状況」「様々な問題性のあるアプリ」「活字による情報伝達の問題性」そして、「家庭での親の姿の影響について」などでした。今回の話の内容を参考にして、子どもたちが成長して、やがてスマホやタブレットを買い与える際には、子どもが安全に有効に活用できるよう親が管理していくことが大切です。

## 教育講演会



今回の講演会は、多目的室で行い、各教室にオンラインで配信する形で行いました。どの教室も真剣に耳を傾ける保護者の方のすがたがありました。

## 新しい児童用机・椅子

新規格の児童用机・椅子が全校生に配当になりました。昨年度6年生の分が更新され、今年度、一気に全校生分270台が更新されました。その机は、高さ調整式のため、ほとんどの机と椅子の高さを変えなければならず、その作業をサポートの方に行っていただきました。暑い中テキパキと流れ作業で行っていただき、一気に調整を完了することができました。ありがとうございました。その調整した机椅子を、5年生・6年生の力で、全校に配当しました。計画では、昼休みから5校時までかかると予定しましたが、こちらの作業も手際よく進み、昼休みの内に完了しました。新しい机を大切に使ってほしいです。



## お知らせ

J A全農ふくれん（福岡県）様、ハイナン農業協同組合（静岡県）様より、お茶をいただきました。進呈してくださった団体に感謝申し上げます。

## ピンチのときこそ、 きずな 家族の絆が試される。

子どもの成長につれ、子どもの生活する世界は家族を越えてますます広がり、人間関係においてもさまざまな経験をするようになります。順調なことばかりでなく、いろいろな悩みにぶつかることもあるでしょう。

そうしたときに家族のやさしさや思いやりがあると、それが励ましになり、子どもにとっては勇気をもって、問題を解決する力にもなるでしょう。そしてさらに、人々と思いやりをもって接する心をはぐくみ、人との友好的な関係を築く力をはぐくむことにもつながるでしょう。



**まず、家族で思いやる**

## 親が子に期待するのと同じ くらい、子は親に期待している。

親が子を思いやるのは当たり前と思われていますが、どれだけの親が実際に子どもを思いやっているでしょう。

思いやりとは、子どものことをよく知ることです。よく耳を傾け、子どもの中の世界がどんなものなのかを理解しようとし、たとえ自分の思う通りでなくてもその子の世界を受け入れることです。

子どもの存在に感謝し、尊敬を払い、愛情を深めていくことによって、親子の関係は進歩していきます。思いやりの心をもって接すれば、子どもが親に話をするのが安心で楽しくなり、いじめなどの悩みも自然に打ち明けられるようになるはずです。

**子どもを思いやる**